

神戸市従業員労働組合民生支部との交渉概要

1. 日 時：令和7年10月16日(木) 17:42～17:57
2. 場 所：こども家庭局大会議室（1号館7階）
3. 出席者：
（市）こども家庭局こども企画課長、係長、他2名
（組合）市従民生支部長、副支部長、書記長、書記次長、他2名
4. 議 題：要求書に関する回答交渉
5. 発言内容：

（市）

日頃から支部の皆さまには、福祉の第一線で市民サービスの向上のためにご精励いただいておりますことに、この場をお借りして感謝申し上げます。

それでは、6月10日にいただいた『現業統一闘争要求書』のうち、勤務労働条件に関するものについて回答させていただきます。また、提出交渉時にすでに回答をさせていただいているものに関しては省略させていただきますので、ご了承ください。

勤務実態が過重になっている職場や課題となっている職場環境については、早急に対応することが困難なものもありますが、引き続き丁寧にその実態を把握した上で、労働安全衛生の観点からも様々な方法を考えながら、職員が安心して働き続けられるよう対応させていただきます。

保育所調理室の衛生環境の整備に関しましては、現在、各保育所に対し、害虫の発生状況に関する実態調査を行っているところです。調査結果を踏まえ、今後、必要な対応を検討してまいりたいと考えております。

なお、本日回答させていただいた項目以外についても、勤務労働条件に関わる問題については、引き続き、労使協議によって解決を図り、健全な労使関係を保っていきたいと考えております。

以上でございます。

（組合）

只今、課長より現業公企統一闘争における6月期に提出した支部要求書に対する回答をいただきました。

引き続き、この回答に対して担当の交渉員から順に発言を行なわせていただきます。

私の方からは3点述べさせていただきます。

はじめに、総合療育センターについてです。

療育センターにおいては欠員が解消されたものの、会計年度任用職員が複数人配置されています。職員の高齢化に伴う、退職等も視野に入れ、欠員が生じた際には速やかに補充できる対策を講じるよう再度要求いたします。また、神戸市立保育所の保育士、調理士の会計年度任用職員をホームページ上の事前登録制で随時募集していますが、現在の状況を聞かせていただきたいと思います。

続いて、東部療育センターについてです。

調理室の拡張工事の要求については、定員がいっぱいになった場合は給食提供に支障が出る場合があると発言しましたが、今年度はすでに登園児が増え、出席人数が満員となる日が出ています。今後も登園児の定員が一杯になることが想定される為、調理室の拡張につきましても、前向きにご検討して頂くよう要求いたします。

最後に、東部療育センター・西部療育センターの共通項目についてです。

西部療育センターでは、欠員により4月からの運用開始には間に合いませんでしたが、7月から会計年度任用職員が揃い、東部から要請があれば緊急時でも、西部の職員の勤務に支障がない範囲で応援へ行ける体制ができています。まだ実績回数は少ないですが、東部からも休暇を取りやすくなったと聞いています。一方で、代替調理士制度は正規調理士の休暇取得時のみ出務可能となっている為、会計年度任用職員が休まれた場合の代替については課題が残っています。今年度から始まったばかりの制度ですが、実施にあたり今後も様々な課題が出てくると予想されます。正規職員、会計年度職員の双方が休暇時に気兼ねなく取得できるよう、現場のニーズにあった制度となるよう要求いたします。

私の方からは保育所調理職場における、夏季作業手当の課題とファン付き作業服について発言させていただきます。

今年度、全国の自治体に先駆け取得した夏季作業手当の新設では、日々、酷暑下で業務に従事する現場の職員から喜びの声があがっています。

しかしながら調理現場からは、現在の支給区分に関する課題と職場環境の改善に関する要望が少なからず聞かれます。今年度の7月、8月、9月は昨年度を更に上回る厳しい暑さとなり、調理場内においても連日3時間以上にわたり高温・多湿の中で業務を行なう事例が多く発生しました。現在の調理現場の申請区分は「1時間以上3時間未満」となっていますが、「熱中症のリスクのある環境で業務に従事した時間について、1日あたりの累計時間をもとに判断する」といった考えが制度要綱にも示されています。来年度の夏季時に向けた制度の検証時には、数多くの現場実態に沿った改善が行なわれ、より良い制度になるよう要求いたします。

また、熱中症対策及び職場環境の改善策として、新たに調理士職種からもファン付き作業服の導入を希望する声が少なからず上がっています。

つきましては、火気や衛生管理を伴う調理職場という特殊な環境下において、安全性・衛生面を考慮した特殊なファン付き作業服となるかは予想しますが、導入の是非について検討していただきますよう要求いたします。

私の方からは管理員職種における、夏季作業手当について発言させていただきます。保育所管理員職種につきましては、その屋外等を主とした業務実態から区分の制限は設けられていませんが、屋内で作業していたとしても1カ所に留まることが少ない職種となります。その為、空調設備の効果は限りなく少なく、管理員専用の事務や作業スペースも無いことから業務中は常に酷暑環境下にあります。その職場環境下においても、趣旨にある熱中症リスクを回避するのが前提であることから、個々の判断によっては申告しづらい、または、取得ができなかったといった課題が多く報告されています。この管理員職種特有の課題についても、先程と同様に来年度に向け改善が行なわれるよう要求いたします。

交渉員から発言は以上となります。只今発言があった内容は担当役員が各現場から負託された中でも特に重要とする課題についてとなります。これらの発言に対し現時点で回答していただけるものにお答えいただけますようお願いいたします。

(市)

ただいま、様々な現場のお話をお伺いしました。改めて、日頃より現場の第一線でご尽力いただいていることに、この場をお借りして感謝申し上げます。

公立保育所の会計年度職員については、市ホームページやハローワーク、民間の求人サイトへの掲載等を行い、広報周知に努めているところです。いずれにしましても、欠員が生じた場合においては、丁寧にその実態を把握した上で、過重労働となっている職場につきましては、職員に負担が著しく生じることをないように、労働安全衛生の観点からも様々な方法を考えながら、対応させていただきます。

調理士・管理員における熱中症対策についてご意見をいただきました。今年度より必要な職場へ「ベスト型のファン付作業服」を導入し、対策を講じているところです。

また、公務の運営のためやむを得ず熱中症リスクのある環境において、業務に従事する必要があるものについては、今年度より夏季作業手当を支給し、業務の危険性を評価した手当も創設されています。夏季作業手当については、今年度の申請状況なども踏まえたくえで、次年度以降、実態に応じた申請が行われるよう、改めて各所属への周知等について検討してまいります。

いずれにしても、職場環境の整備につきまして、現場の最前線で市民と直接接する業務に従事する職員が有する情報を活かし、業務の効率化を図ることは重要だと考えております。また、社会情勢が大きく変化し行政運営にも多くの課題がある中、より質の高い公共サービスを提供するための施策を実行するには、労使が一体となり、知恵と力を結集し取り組みを進めることが重要だと考えております。勤務労働条件に関する事項については、引き続き、皆さまと十分に協議してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(組合)

私の方からも、こども家庭局全般の課題として新規採用の再開についてふれさせていただけます。現在、現業労務職の一部職種において新規採用の再開が継続されています。これは、長年採用が滞り、技術継承や年齢構成の歪みから継続した事業展開が困難である中、粘り強く公共サービスの必要性を訴え取り組んだことが採用再開に繋がったと認識しています。

このことは民生支部内でも同様であり、長期に渡り採用が滞っていることから、職員の高齢化が進み退職者の増加を招いています。また、近年では早期退職者の増加兆候も見られ、それに伴う年度当初からの欠員も深刻化しています。特に調理現場での欠員補充は喫緊の課題となっており、支部としては今後も次世代へと技術継承をはかり、年齢構成の歪みを正し、安定的な公共サービスを提供していく為にも採用の再開は必要だと考えています。

この現状について、どのような考えをもっているのか、改めてこの場でお聞きしたいと考えます。いかがでしょうか？

(市)

新規採用についてもご意見をいただきました。本市においては、少子化が進行する中で、「神戸っ子すこやかプラン 2029」において、今後は公・民含めた保育所等の利用定員が「量の見込み」を上回ることから、新たな施設整備は計画しないこととするなど、保育ニーズの減少に対応した取り組みを進める必要があります。特に公立保育所については、「神戸っ子すこやかプラン 2029」において、将来にわたって安定的な質の高い教育・保育の供給に向け、需給調整にあたっては、積極的にその役割を果たす必要があるとしており、需給バランスの乖離が大きく拡大した地域において、公立保育所の再編も含めて検討するとしています。

こうした状況をふまえつつ、今後欠員の発生が見込まれる職場につきましては、職員に負担が著しく生じることのないようにするとともに、今後も事業が安定的かつ継続的に見えるよう、様々な方法を考えながら、対応したいと考えております。

(組合)

本日は利用者の立場にたった、組合員の切実な声を代弁する形で発言させていただきました。

また、今年度は害虫駆除への対応をはじめ、夏季作業手当、ファン付きベストの貸与など、年々厳しくなる酷暑対策を講じてくださりましたことにこの場を借りまして、心より感謝を申し上げます。

昨年度、神戸市は「共働き子育てしやすい街ランキング」で総合1位となりました。日々、神戸市の子どもたちや保護者の方々と接している私たち職員にとっても、大変嬉しい結果でした。しかしながら、保育所・各療育センターで働く職員は、高齢化が進み、会計年度職員を募集してもなかなか採用まで繋がらず、正規職員は労働荷重を強いられています。今後、定年による調理士の欠員も懸念されます。すべての職員のやりがい向上させるためにも、新規採用の必要性の理解を求めます。

行財政改革を断行中の神戸市の立場を十分理解したうえで、同じ市民の目線で考えていただき、一緒に神戸市の福祉サービスを作り上げていただきたいと思います。

今回の回答は本部総体での取り組みになっていることから、然るべきのちに、ご返答させていただきますたく思います。

本日は、貴重なお時間を頂戴し、ありがとうございました。